

令和2年度 第1回 富士見市都市計画審議会 会議録

会議日時	令和2年8月5日(水)		開会 午前10時00分	閉会 午前12時00分			
会議場所	中央図書館 視聴覚ホール	出席者数	委員定数14名中 出席者14名				
出席者	委員	1号	会長	木内芳弘	2号	委員	上杉考哉
			委員	田中金治		委員	津波信子
			委員	山田道成		委員	今成優太
			委員	寺沢靖		委員	小川匠
		2号	委員	千種秀信	3号	委員	梅田昌照
			委員	栗原昭		委員	世羅陽一郎
			委員	中澤佳珠代		委員	田中聰行
臨時委員	なし		参考人	なし			
幹事	落合慎二						
事務局職員及び説明担当員	【事務局職員】 まちづくり推進部 落合部長 まちづくり推進課 栗林課長、會田副課長、室本主任 政策企画課 甲佐主査 島根主任						
欠席委員	なし						
議長	木内芳弘		担当書記	會田浩司			
署名委員	会長 委員 委員						

会 議 事 項

(1) 都市計画マスタープランについて

まちづくり推進課から別添資料により説明。

質疑応答

■委員

94 ページのまちづくり協議会について、具体的に各地域からまちづくり協議会の計画案、事業案は出ているのか。また、それらとの連携はどのように取るのか。

◆事務局

都市計画マスタープランを基本として、まちづくり協議会等と協働、話し合いながら進めていきたい。

■委員

ぜひ連携をお願いしたい。

■委員

地域別構想は、市民ワークショップでの意見を反映したものということよいか。

◆事務局

全ての意見の反映はできないが、反映できるところは反映している。

■委員

市民ワークショップではコロナ禍前に地域別構想の意見交換が終わっているということか。

◆事務局

各地域2回の意見交換を実施した。

■委員

地域別構想で地域公共交通に関する方針が記載されている地域と記載がない地域の違いは何か。

◆事務局

市民ワークショップでのご意見と、現状を踏まえた記載としている。

■委員

自然公園や緑地を点ではなくグリーンベルトのような線で結ぶことより一層富士見市が良

く

会 議 事 項

なると思う。この点についての考えはいかがか。

◆事務局

水とみどりの方針で公園・緑地のネットワーク化や川沿いの散策道の活用を方針として記載している。

■委員

水とみどりの方針図でも点になっている。夢をもってグリーンベルト等を作って欲しい。

■会長

そのようなことも今後まちづくりをしていく上で加味して欲しいということで良いか。

■委員

良い。

■委員

緑のネットワークは生物多様性戦略が必要。富士見市にも生物多様性戦略の策定を提案する。

緑の保全には、保全・活用・維持管理が必要。現在の計画案は保全のみの記載となっている。どのように保全・活用・維持管理していくのか具体的に記載して欲しい。また、みどりの「軸」「ネットワーク」の使い方を注意すべきである。散策路であれば「散策路」でも良いのではないか。

◆事務局

表現や保全・活用・維持管理の具体的な手法に関する記載を検討する。

■委員

西みずほ台地域の水とみどりの課題に「一人あたりの公園面積 1.5 m²と低い」と記載があるが、本地域は市内では公園の数が多い地域である。より低い地域が分かるような表現とすべきではないか。

◆事務局

これまでの国の目標である公園面積 10 m²/人に対して「低い」と表現している。表現は再度検討する。

会 議 事 項

■委員

個人的な認識だと、鶴瀬東の住宅が密集している地域は非常に少ない。そのような地域に取り組む姿勢を出して欲しい。例えば空き家を活用するなど。面的整備地域だけでなく進めて欲しい。本計画を推進するためには非常に多くの財源が必要となる。どのようにお考えか。

◆事務局

総事業費は算出していない。この計画をもとに財源の確保に努め、個々の施策を進めていく。

■委員

コロナの影響でこれからいろいろ変わると思う。5年程度で進捗を確認しながら、10年程度で計画を見直すなど考えた方が良い。

■委員

計画策定までに、本日の意見について改めて検討する時間はあるのか。

◆事務局

検討、修正する時間はある。

■委員

計画の進捗管理はいつごろ示してもらえるのか。

◆事務局

進捗管理に関する考え方は記載済である。実際の進捗をどのような形で提示していくかは今後検討する。

■委員

幹線道路について、記載されている計画道路が全て実現すれば良いが、現実的には難しい箇所もあるように思う。計画の見直しは可能なのか。または整備時期を提示可能か。

◆事務局

広域幹線道路・幹線道路の整備の方針に、将来の交通需要などを踏まえ、整備の内容・必要性を検討すると記載している。廃止だけではなく、幅員の変更なども見直す必要があると考えている。

会 議 事 項

■委員

コロナ後において、この計画が当てはまるのかが疑問である。ただ、今回の内容を記載しないと将来実現されないことも承知している。このようなことも加味した表現を検討してほしい。

■委員

高齢者も含めた移動に関する方針が様々記載されているので、積極的に進めて欲しい。

■委員

核都市広域幹線道路の「整備を要望していきます」とは、どこに要望していくのか。

◆事務局

整備は国になるが、埼玉県に計画に記載されている構想道路なので、まずは埼玉県に要望していく。

(2) 勝瀬・ふじみ野地区都市再生整備計画の事後評価について

政策企画課から別添資料により説明。

4 その他 なし

5 閉 会 栗林まちづくり推進課長

以上